

—目次—

はじめに

1. 沖縄の山、川、海をとりまく特性	5
（1）地理的特性	5
（2）自然特性	11
（3）社会特性	14
（4）歴史に見る人と水のつながり	20
（5）沖縄の山、川、海の特性と整備の状況	25
2. これまでの取り組み状況とその効果	40
（1）”山、川、海、豊かな自然が生きづく川づくり”	43
（2）”歴史にいだかれ、ふるさとの豊かさとやすらぎをかもしだす川づくり”	46
（3）”期待される機能を十分に果たし、ひとびとの豊かさを守る川づくり”	48
（4）”アジアや太平洋の島しょにひろがるウチナーの川づくり”	50
3. 沖縄の山、川、海を取り巻く課題	52
（1）激化する水害・土砂災害と地震への懸念	52
（2）増加する人口・観光客と追いつかない水供給体制	60
（3）沖縄らしい環境・風景の消失	61
（4）地域の山、川、海に対する当事者意識の低下	62
（5）忍び寄る地球温暖化の影響	63
4. 課題の解決に向けた取り組みの考え方	64
（1）水害・土砂災害からの安全の確保	65
（2）安定的な水資源の確保	65
（3）良好な環境・景観の形成	65
（4）多様な連携と住民参加	65
（5）地球温暖化への対応	65
5. 今後の具体的な取り組み	
（1）安全・安心確保のための重点的かつ多様な予防対策	66
（2）ソフト対策の推進	70
（3）多様な環境と景観を創出して生かす川づくり	72
（4）地域との協働の推進	73
（5）地域と河川の関わりを重視した取り組み	74
（6）観光との連携	74
（7）国・県・市町村の連携と役割分担による施策の推進	75
（8）山、川、海づくりの継続的なモニタリングとレビューの実施	77

6. 将来への魅力と活力ある沖縄の持続的発展を見据えた調査検討・施策展開	78
（1）都市域を中心とした総合的な治水対策に関する議論	78
（2）気候変動も踏まえた水資源に関する議論	78
（3）大規模土砂災害や総合的な土砂災害対策に関する議論	78
（4）多自然川づくりと自然再生に関する議論	79
（5）地域住民との協働に関する議論	79
（6）地球温暖化による影響に関する議論	79
（7）水・物質循環の再生に関する議論	80
おわりに	81